

# 市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO. 213

2018年9月15日  
日本共産党  
新潟市議会議員団  
電話 025-226-3450  
FAX 025-223-7748

## 9月議会

# BRT、万代島ルート線、新潟駅の安全対策について市長の見解を質す

## ——五十嵐完二議員が一般質問——



五十嵐完二議員

日本共産党市議団の五十嵐完二議員は11日、①BRT・新バスシステムについて②万代島ルート線について③工事中の新潟駅の安全対策等について④の3項目について一般質問を行いました。

### 市長候補4氏のBRT政策は市民の不满を反映

五十嵐議員は、BRT・新バスシステムは開業から3年たったが、市長選に名乗りをあげている4氏ともが「廃止」「見直し」「改善」を訴えていることは、市民の中にBRT・新バスシステムに対する不満や批判が多いことの表れではないかと追及しました。

篠田市長は「利用者から支持されていることは明瞭だ」「積み上げた土台を廃止することは理解できない」などと強弁しました。また、五十嵐議員は新潟交通の

利用者数増は、主に年間約240万人も利用する「シニア半割」によるもので、シニア半割を含めて利用者の利便をはかることこそ、負の連鎖を断ち切り、持続可能な公共交通の見通しを開くものだと指摘しました。

### 見通しが立たない専用走行路と島式ホームの設置、連節バスの追加購入

五十嵐議員は「平成31年度までにBRTの専用走行路と島式ホームを設置し、連節バスをさらに4台購入する計画であったが、見通しは立っていない。その理由をどのように考えているのか」と質しました。

篠田市長は「ここでも、バス交通を持続可能にするという最大の目標は達成されつつある」と強弁しました。

### ダイレクト便を大幅に増やすための市の支援を求める

五十嵐議員は、バス路線の再編で不便になったのは乗り換えであり、不便を緩和するためにはダイレクト便の大幅増が必要だと指摘。その場合、バス車両と運転手の確保が課題であり、新潟市として

事業者への支援を検討すべきではないかとただしました。

### 万代島ルート線は必要か、市として検証を

五十嵐議員は、万代島ルート線の直轄負担金は昨年度末までに267億円となり、今後、新潟市は233億円も負担する予定だが、さらに事業費が膨らむことが想定されると指摘しました。

明石通りから柳都大橋までの高架化や株川岸通り交差点の立体交差化などの未着手区間について、人口減少などの社会情勢の変化や新潟市の財政状況からみて本当に必要なのかどうか、市独自で検証する必要があると提起しました。

篠田市長は「市で検証するに値する」と答えました。



パネルを片手に市長を追及する五十嵐議員

### 工事中の新潟駅2番線の安全対策などを求める

新潟駅連続立体交差事業にとっても工事中の新潟駅について、不便になった、危険だとの声があがっています。とりわけ、越後線、信越線、白新線の1日60本が発着する2番線は、改札を通過してホームにたどり着くまで階段2か所・87段も登らなくてはならず、しかも大変狭くて危険なホームとなっています。

五十嵐議員は、2021年度の全面開業までの間、コンコースにベンチを設置するとか、2番線をなるべく使用しないようにするなどの対応をとるべきであり、狭い2番線ホームからの転落防止のための対応をJRに求めるべきだと市の見解をただしました。

都市政策部長は「駅員による利用者への案内や階段昇降のサポートを強めている。早期にエレベーターが設置できるよう検討を進めている」「転落防止のため、混雑時以外の時間帯にも警備員を配置した」と答弁しました。

### 市議団の日程

- 9月16日(日) なくそテ原発集会
- 9月18日(火) 市議会各常任委員会
- 9月19日(水) 各常任委員会(請願・陳情)  
安保法制強行3年集会・デモ
- 9月20日(木) 市議会各常任委員会(採決)  
ノーモア・ミナマタ裁判集会
- 9月21日(金) 市議会各特別委員会
- 9月26日(水) 市議会本会議(採決)
- 9月28日(金) 市議会決算審査特別委員会